



www.hanaiyusuka.com

西海岸と共通点が多い湘南 BGMを選ぶなら、これ

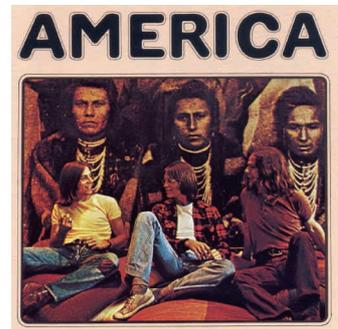
BGMとはご承知の通り、バック・グラウンド・ミュージックだ。さまざまなシーンの背景にかかっている音楽のこと。レストランのBGMもあれば、オフィスでかけているBGM、いずれもBGMはその場をいい気分にくれたり、イメージに似合う曲を選んでいる。ならば、広い意味で湘南のBGMというものもあるはずだ。僕の場合、湘南のBGMを選ぶとすれば、アメリカの70年代のバンド「アメリカ」。西海岸の海を思わせるポップなメロディは、湘南にも心地よくなじむ。

そう、アメリカの西海岸と湘南はすごく似ている。アメリカの西海岸ポップスの文化は、湘南にも通じる感じがする。太平洋という大きな池の両端にあるこのふたつの町の共通点は挙げれば切りがない。車のカルチャー、音楽、サーフィン、海がそばにあるアウトドア感覚……。カリフォルニアみたいに、デッキ付きの家がこれほどある街は湘南ぐらいだと思う。そして庭先には決まったように、ビーチクルーザーがある。そういえば、逗子マリーナの空にそよぐヤシの木も、ロサンゼルスの子供たちを思わせる。そして海岸線を走る134号線も、まるでベンチュラ・ハイウェイの日本版のようだ。つまり、西海岸に似合う曲は湘南の景色にもよく似合うという論理。安易に思ってしまうだろうが、これは事実だ。

そして134号線を想像させるベンチュラ・ハイウェイといえば、やはり、さわやかな西海岸の海岸線をイメージさせる70年代のバンド、アメリカの同名のヒット曲だ。アメリカは1970年代に世界のポップチャートを飾った、3人組のアコースティックバンドだ。彼らはさまざまな西海岸を思わせる曲でヒットを飛ばしていった。メンバーは3人共アメリカ人だったが、父親達がアメリカの空軍だったため、ほとんどアメリカに住んだことがない。イギリスにあるアメリカンスクールの学生だったんだ。だからこそ近くて遠い西海岸に思いを寄せ、多くの曲を生んでいけたのだろう。カリフォルニアの青い空と太陽、海、砂漠の砂、そしてヤシの木……。それは夢のような世界だからこそ、聞いていてハッピーになれる。海にいる気分を盛り上げてくれるんだ。海岸線のドライブにも、海辺や自宅のデッキで楽しむバーベキューにも「アメリカ」の曲はよく似合う。「ベンチュラ・ハイウェイ」だけでなく「名前のない馬」、「金色の髪の少女」、「魔法のロボット」……。ボーカルの歌声は甘くて、優しい。そしてポップなメロディラインは休日やハッピーに盛り上げてくれる。

またビーチ・ボーイズもそうだろう。中心的なソングライター、ブライアン・ウィルソンはサーフィンができないから、海やサーフィンの世界を夢のあるものとして曲にできたのだ。こちらも海気分を盛り上げてくれる曲が満載だ。

ちなみに、逆をいえば自分の国の歴史や文化のことは、書かないほうが良いといわれている。アメリカのデモクラシーの一番有名な本は、おそらくフランス人アレクシス・ド・ロクヴィルが1830年に書いた「アメリカの民主政治」だ。アメリカ人が書くところでも主観的になってしまうところを、フランス人なら客観的に書いている。こんなふうに、やっぱり他人の芝生は青い。だからこそ、夢の世界に描ける。それを聴けばいつそう盛り上がるんだ。そう、夏は過ぎても、ここは湘南。いつまでも夏気分、開放感を味わえるようなBGMで過ごしていきたい。



ARTIST: AMERICA
ALBUM TITLE: AMERICA
LABEL: WARNER BROTHERS
NUMBER: 7599-27257-2
RELEASE DATE: 1972

PROFILE

ジョージ・カックル

1956年鎌倉生まれ。日本人で日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父を持ち幼少時代を日本・テキサス・韓国で過ごす。小学3年生でビートルズに開眼。LAで有名なサーフポイントでの初サーフィン体験。この原体験が彼のその後の人生を決定付ける。日本での学生生活の後、憧れのインドをはじめ世界を放浪し、ハワイ経由でサンフランシスコに移り住み18年間波乗りで明け暮れた。1995年帰国後、生まれ故郷鎌倉へ音楽マネージメント&制作会社を立ち上げ、日本のミュージックシーンにbabamaniaなどを輩出。音楽プロデューサー、コラムニスト、作詞家(マッドカプセルマーケット、阿川泰子など)として、2006年の8月には子供の英語・音楽教育用の本『ウクレレ・マミー・アンド・ミー』を出版。古今東西の音楽と文化と人間臭さをこよなく愛し日本と世界を結ぶ架け橋になりたいと願い、今日もポップ・マリーを聞きながらサーファーとしても多忙な日々を送っている。

現在、インターFM(76.1)毎週日曜日、9:00~13:00 レイジーサンデーを担当。